
私が語る私の恋

杏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私が語る私の恋

【Nコード】

N78420

【作者名】

杏

【あらすじ】

主人公の広瀬桜と魁斗の悲しい恋

1年半好きだった思い

（前書き）

私の体験した恋を書きました。

実際小説と言うものはあまり書かなくて、書き方がわからずペラペラと

書いてしまいましたが、読んでください。

初めての作品です。「私が語る私の恋」

私は、小学6年生の広瀬桜！！そんな私に実は好きな人がいるの！！

5年生のころ、転入してきた長野魁斗君に恋をした。それから、ずっとずっと好きなの。

でもね、私5年のころからちよつと不登校気味だった。6年の時には1ヶ月くらい休んだ。

精神的な病気になっちゃってね・・・。

辛かった。自殺行為までした。病気は増す一方だった。朝も昼もろくに食べなくて、昼は以上に眠いのには夜はねなくて、自分を責め続けて、無償にイライラする。

そんな生活を変えてくれたのは、今親友のはるちゃんにあいちゃんだった。はるちゃんは可愛くて男子にも人気があつてモテる子、あいちゃんは、元気でいつも励ましてくれる子だった。

不登校のある日。

「桜ー学校こんかー！！」

「あいちゃん？」

「みんな待つてるつつぞー！！！！」

家に突然押しかけてきたのはあいちゃんだった。

「明日は学校こいよー」

「うん・・・」

いつもお見舞いに来てくれるのに私は嘘ついてばっか。

でも、あいちゃんが手紙を持ってきてくれた。

その手紙はあいちゃんが無理やり魁斗に書かせた手紙。

きつたない字で「早く学校にきてね」って。一言。

それだけでもうれしかった。

それからだんだん学校に行くようになり、あいちゃんとはるちゃんと仲良しに。

そして、6年のある日・・・

「あんた、桜のこと好きやろー」

こんな大きい声が私の耳に響いた。

あいちゃんの声？

「ちげえし」

そう、言ったのは魁斗。

私は自分の顔が赤くなるのがわかった。

「絶対こいつ桜のこと好きだよねー」

「ちげえってば。まあ、俺の好きな奴はこのクラスの中にはいるけどな」

「桜やー」

私が聞いたのはそこまで。これ以上は聞きたくなかった。
その次の日は陸上大会だった。

なぜか、恐怖の告白退会にもなった。

親友のはるちゃんは、大木くんの事が好きで

大木君もはるちゃんのことを好きで告白して、めでたく結ばれたってわけ。

次は、同じく仲が良かなちゃんは、黒木君に告られてOKしてカップル成立！

でも、そこで魁斗が好きな人に告るって言い出したの！

魁斗が呼び出した相手は、

親友のはるちゃんだった。

あいちゃんは私に「行くな」って言った。

告白の最中だったから・・・。

あいちゃんは、私が傷つかないように言った。それはあいちゃんの精一杯の優しさだった。

はるちゃんは魁斗に「ごめんなさい」と答えた。

悲しかった。

「あきらめないで。魁斗のこと!!」

「いいよ、もう。あ・・・私ほかに好きな人いたから!!」

「元氣そうに振舞う私。馬鹿みたい・・・」

「桜ー桜ー」

「あいちゃん？なに？？」

「あつあのね、私が交渉してみたところ、魁斗がつ、『桜が俺の事を好きって言ったら俺も考える』って！・・・」

「もう、いいよ^^」

「あきらめんな！」

「そーだよ」

「桜、いくよ！！」

「えつつやだ・・・」

「もーはやく」

「心の準備はOK？」

「えつつ」

「魁斗ー！！！魁斗さーん」

「ほら、桜はよ言わんね！！」

「・・・」

「むりーあきらめろー」

その言葉がとんできた。

私何も言っていないのに。

なんでなんで、あきらめてからそんなこと言うの？

涙がただ、ただ溢れて・・・

私が魁斗のことを好きだった思いは一瞬にして消えた。

その日から魁斗は喋れなくなった。

クラスの男子も私に気を使ってくれたみたいで・・・

だから引きずるのはやめようと思う。

だって、一年半も好きだった思いが一瞬で消えて心ズタズタになっ
たってみんなが

またきつと支えてくれる。

「よし！また新しい恋を見つけるぞー」

「桜、一緒に好きな人みつけようねっ！...!」

（後書き）

私の初めての作品、「私が語る私の恋」読んでいただきありがとうございました。

私の体験ですが、未熟なものですいません。

また、いろんな小説を書いていきたいと思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7842o/>

私が語る私の恋

2010年11月8日04時13分発行